

## 7 平成 29 年度 事業のまとめ

横浜市立図書館では、横浜市立図書館アクションプラン（第 2 期）に基づき、毎年「図書館の目標」を策定し、ホームページなどで公開しています。平成 29 年度は、アクションプラン及び図書館の目標に基づき、以下の事業を実施しました。

### 【重点項目 1】市民の読書活動を支える図書館

#### (1) 地域特性に応じた読書活動の推進

- ・山内図書館（40 周年）、保土ヶ谷図書館（35 周年）、神奈川図書館（30 周年）、南図書館（25 周年）が、周年事業を実施しました。（P. 33 表(4)）
- ・「まちライブラリー」（市民自らが作る小さな図書館）開設のためのイベントや、広報等の支援を行いました。また、図書館の本を地区センターなどに置いて本との出会いの場を作る「まちじゅう図書館」の取組も始まりました。
- ・区と連携し、図書館外でも講座・講習会を開催して地域の読書活動を推進しました。

#### 【図書館外で行った主な講座・講習会】

図書館名	内容（タイトル）	会場	開催日	参加人数
中央	笑いでつくる健康な心と体 大学教授×落語	八洲学園大学附属図書館	9/30	37 人
鶴見	つくってみよう鶴見の紙芝居 発表会	鶴見区役所	1/31	40 人
金沢	かなざわ大人のライブラリーツアー	横浜市立大学 学術情報センター	9/14	17 人
		関東学院大学図書館	11/18	16 人
戸塚	0 歳からの絵本に親しむ講座	こまちカフェ	3/8	20 人
瀬谷	「あなたの声を届けよう～朗読の楽しさ実践編」3 回連続講座	瀬谷区役所	2/7	58 人
			2/14	
			2/21	

#### (2) 家庭での子どもの読書活動の支援

- ・図書館でのおはなし会や、地域施設等での出張おはなし会を実施しました。実施にあたっては読み聞かせボランティアの方に活躍していただきました。（開催 1,930 回、うちボランティア参加 1,212 回）（P. 34 表(5)）
- ・子育て支援の講座として、保護者・市民向け読み聞かせ・わらべうた等の講座を実施しました。（56 回、延 1,361 人参加）（P. 35 表(6)）
- ・家庭での読み聞かせに向く乳幼児絵本のリスト「おひぎにだっこで楽しむ絵本」を作成し（30,000 部）、区役所の乳幼児健診や事業等で配布しました。



#### (3) 学校への支援と学校教育への協力

- ・学校司書研修等に講師として司書を派遣し、学校司書育成を支援しました。（研修 7 回）
- ・学校向け支援プログラムを各図書館で作成し、区内の小・中学校に対し、教職員向け貸出や図書館見学等の支援サービスを実施しました。（P. 22 表(12)）
- ・学校向けセット貸出図書（※）について、新しいテーマの追加や既存テーマの内容を更新しました。（新テーマ 1 種、既存テーマの内容更新 1 種、既存テーマの追加 1 種、188 冊購入）

- ・学校図書館への支援として、「新刊案内：図書館から学校におすすめの本」の定期的な情報提供を行いました。
  - ・学校図書館の現状や公共図書館に対するニーズを把握するため、西区の学校図書館を訪問し司書教諭や学校司書にヒアリングを行いました。(5校)
- ※学校向けセット貸出：学校の授業で取り上げることが多いテーマ等について、テーマごとに20冊から40冊程度にまとめて貸出をしています。

#### (4) 地域の読書活動への支援

##### ア 読み聞かせ等ボランティアの育成と支援

- ・地域で活動するボランティア向けに、読み聞かせ講座等を実施しました。(P.35 表(7))
- ・図書修理や書架整理など、図書館の環境整備にボランティアが活躍しました。(P.35 表(8))
- ・中図書館及び中区で読書推進の活動を行ってきた方が、神奈川県図書館協会から功労者として表彰されることが決まりました。

##### イ ボランティア交流会等の実施

図書館や地域で活動するボランティアの交流会や懇談会を実施しました。(P.37 表(10))



ボランティア懇談会の様子



##### ウ 横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム

11月11日(土)に、中央図書館を会場として、横浜市読書活動推進ネットワークフォーラムを開催しました。(教育委員会事務局主催 来場者数延 300人)

#### (5) 障害のある方への情報提供支援

- ・中央図書館で制作した録音図書を、国立国会図書館の視覚障害者等用データ送信サービスに121件登録しました。本市の提供データ数が増えたことにより、前年度の3.3倍程度にあたる延べ8,569件のダウンロード数となりました。
- ・平成28年度に引き続き、障害の有無に関わらず、障害について考えるきっかけづくりや関連の図書館資料を紹介する企画事業を実施しました。
- ・平成28年度の養成講座を修了した視覚障害者向け録音図書音訳者に対して、引き続きフォローアップ研究会を開催しました。23人が8月を除く毎月の研究会に参加しました。

##### 【障害についての企画事業】

事業名	開催日	内容
障害を知る・障害について考える～ヒューマンライブラリー&ワークショップ	12/3	障害のある人(視覚障害や発達障害、聴覚障害)が、「生きている本」として「読者」と対話する「ヒューマンライブラリー」と、障害のある人もない人もともに参加して日常の障害について考え、新しい気づきを共有するワークショップを開催。あわせて関連図書の展示を実施。
視覚障害者向けライブラリーツアー～中央図書館を歩いて触れて感じて～	9/19	視覚障害者を対象としたライブラリーツアー。視覚障害者向けの資料や音声読み上げ機器の操作方法、対面朗読やレファレンスなどのサービスを紹介するほか、所蔵する図書などを手で触れながら中央図書館内を見学。

**(重点項目2) 地域の情報拠点としての図書館**

**(1) 市民の課題解決と読書活動に役立つ資料の収集**

横浜市立図書館蔵書5か年計画に基づき、各館ごとに年間資料収集計画を策定し、資料の収集を行いました。

**(2) 資料の活用と情報発信**

**ア 中央図書館の主な取組**

- ・デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」に、デジタル化資料を追加・公開しました。(330点)
- ・デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」収録資料紹介に、「芝居番付」、「幕末・明治期写真アルバム」を新規追加し、コンテンツの充実に努めました。



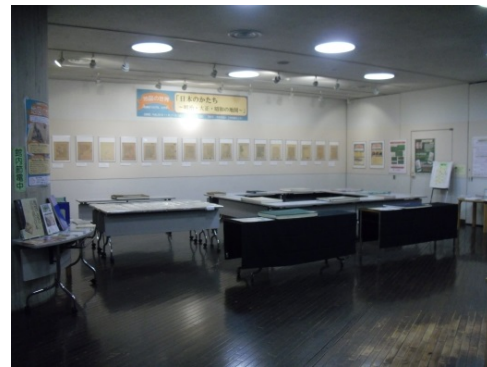
- ・各区局や類縁機関、出版社などからの申請を受け、市立図書館で所蔵している貴重資料の画像データを提供しました。提供したデータは、横浜市の広報や書籍、テレビ番組などで活用されました。
- ・所蔵資料を活用した展示を実施し、関係機関と連携・協力することで展示内容の多様化及び充実に図りました。(71回)

**【中央図書館所蔵資料を活用した主な企画展示】**

展示名	期間	内容
横浜の芝居展	6/23-7/17	明治期横浜の芝居の変遷と発展について、中央図書館が所蔵する「芝居番付」等により紹介。 会場：中央図書館3階展示コーナー
吉田新田完成350周年	8/22-9/18	完成350周年を迎える吉田新田の開発とそれに基づいた市域の変遷などについて、吉田家刊行物、絵図等を展示。会場：中央図書館1階展示コーナー
日本のかたち～明治・大正・昭和の地図	11/21-12/17	「内務省地理局作成地形図」、「迅速測図」などの「復刻版地図」を展示。 会場：中央図書館1階展示コーナー他
読んで知る横浜市歌	2/14-3/18	長く歌い継がれ、市民に親しまれている横浜市歌について、関連資料、楽譜などを展示。 会場：中央図書館3階展示コーナー



企画展示「横浜の芝居展」



企画展示「日本のかたち～明治・大正・昭和の地図」

## イ 地域図書館の主な取組

図書館名	内容	時期
神奈川	かなデジ（神奈川県デジタルライブラリー）を開設	10月
南	On Japan（日本紹介）コーナーを新設	6月
港南	医療情報コーナーをリニューアル	9月
緑	健康図書コーナーを新設	9月
山内	子育て支援コーナー「一緒にすすすく」を新設	10月



港南 医療情報コーナー



南 On Japan コーナー



山内 子育て支援コーナー

### (3) 市民の学習活動・課題解決の支援

- ・各部門や「医療・健康情報コーナー」、「ビジネス資料コーナー」、「法情報コーナー」などの資料を活用し、様々なテーマの展示を実施しました。（通年）
- ・横浜市立図書館蔵書検索ページ内「レファレンス検索」及び、国立国会図書館レファレンス協同データベースにレファレンス事例を追加・公開しました。（34件）
- ・「ヨコハマライブラリーカフェ」を「ヨコハマライブラリースクール」にリニューアルし内容の充実に努めました。市区局及び専門機関と連携し、実施しました。（P.30）
- ・調べ方のヒントやテーマ別の図書リスト、蔵書検索では探しにくい資料の目録を作成しました。利用者向けの他、横浜市職員の業務に役立つリストの作成にも取り組みました。（新規24点、改訂17点）（P.36 表(9)）

事業の実施にあたっては、企画展示・講座・ブックリストなどを積極的に組み合わせ、多様な切り口からの学習支援・情報発信に努めました。



ビジネス資料コーナー



ヨコハマライブラリースクール

#### (4) 人材育成の推進

平成 28 年 3 月に策定した「司書職人材育成計画」に基づき、司書の専門的能力向上のための研修を 47 回実施しました。

### (重点項目3) 誰もが使いやすい図書館

#### (1) 広域相互利用の開始

平成 29 年 3 月 1 日より、横浜市と隣接する 7 市のうち 4 市（鎌倉市・川崎市・藤沢市・大和市）と広域相互利用を開始しました。ほかの 3 市とも調整を進めてきましたが、平成 30 年 3 月に横須賀市と協定を結び、平成 30 年 4 月から広域相互利用を開始することになりました。(P. 22 表 (14))

#### (2) 山内図書館の指定管理者による運営

山内図書館のサービスに対する利用者の意見を収集し、図書館運営に反映させることを目的として、2 月に利用者満足度調査を実施しました。

#### (3) 利用者懇談会等の開催

市民の意見を反映した図書館運営を進めるため、各図書館で懇談会等を開催しました。(P. 37 表 (10))

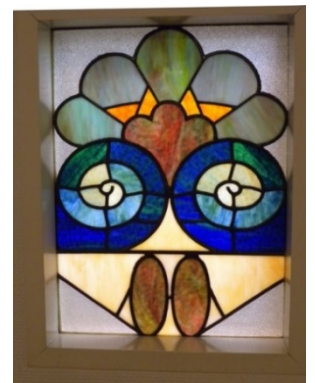
#### (4) 自主財源の確保及び経費の節減(広告事業)

ホームページのバナー広告掲載、館内のパンフレットラックの設置、広告を掲載した印刷物の製作などの図書館広告事業による平成 29 年度の歳入額は 3,443 千円、節減額は 2,055 千円でした。

#### 【コラム ツイッター (Twitter) はじめました！】

横浜市立図書館では、平成 29 年 11 月 1 日からツイッター (Twitter) による情報発信を開始しました。ツイッターは、140 文字以内の短文情報を投稿・閲覧するインターネット上のコミュニケーションサービスです。インターネットを利用できる環境 (パソコンやスマートフォン、携帯電話など) があれば、どなたでも読むことができます。

市立図書館の休館や移動図書館はまかぜ号の運休情報、中央図書館で開催しているおはなし会や展示、講座などのイベント情報を中心に、開始から平成 30 年 3 月までに 170 ツイートしました。また、中央図書館にあるアート作品を紹介する「図書館でアートに出会う」、外国語の絵本をクイズで紹介する「外国語絵本クイズ」では、シリーズとしてたくさんのアート作品や絵



【図書館でアートに出会う】  
中央図書館のステンドグラス

本をご紹介しました。

4 月からは、これまでの内容に加え、地域図書館のイベント情報や、図書館にある図書を参考にして、中央図書館の庭でかぼちゃづくりに挑戦する「#図書館かぼちゃ」シリーズなども発信しています。

ぜひフォローをお願いします。

横浜市立図書館の公式Twitter  
アカウントができました。  
図書館に関する様々な情報を  
ツイートしていきます。

「横浜市立図書館」を  
フォローしてください！

横浜市立図書館 @yokohama\_lib  
[https://twitter.com/yokohama\\_lib](https://twitter.com/yokohama_lib)